



「ライトライン」開業後の 状況について

令和5年11月27日(月)

第37回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会資料

▶ 説明内容

1 「ライトライン」の利用状況について

2

「ライトライン」開業後の他の交通等の利用状況について

- (1) バス路線の利用状況
- (2) LRT・バスと地域内交通の乗継の利用状況
- (3) 「ライトライン」沿線の駐輪場の利用状況
- (4) 駐車場の利用状況

1 「ライトライン」の利用状況について

■ 開業後3か月の利用状況など

◎ 開業3か月目は、**約39万人**が利用（当初予測の**約1.3倍**）

- **平日**は通勤・通学をはじめとした日常利用が浸透し、前の月から微増傾向の、**約13,000人**（当初予測と**同程度の利用**）
- **土日・祝日**はショッピングや一日乗車券による観光利用など、前の月と同様の、**約11,000人～12,000人**（当初予測の**約3倍**）



※11月15日（水） 利用者数100万人を達成

表 ライトライン利用者数

利用状況	1か月目 (8/26～9/25)	2か月目 (9/26～10/25)	3か月目 (10/26～11/25)	当初予測 (開業初年度)
利用者数	約420,000人	約380,000人	約390,000人	約312,400人
平日	約12,000～13,000人／日	約12,000～13,000人／日	約13,000人／日	約12,800人
土日祝	約15,000～16,000人／日	約11,000～12,000人／日	約11,000～12,000人／日	約 4,400人

※3か月目の利用者数等は、21日までの実績値に基づき推計し算出

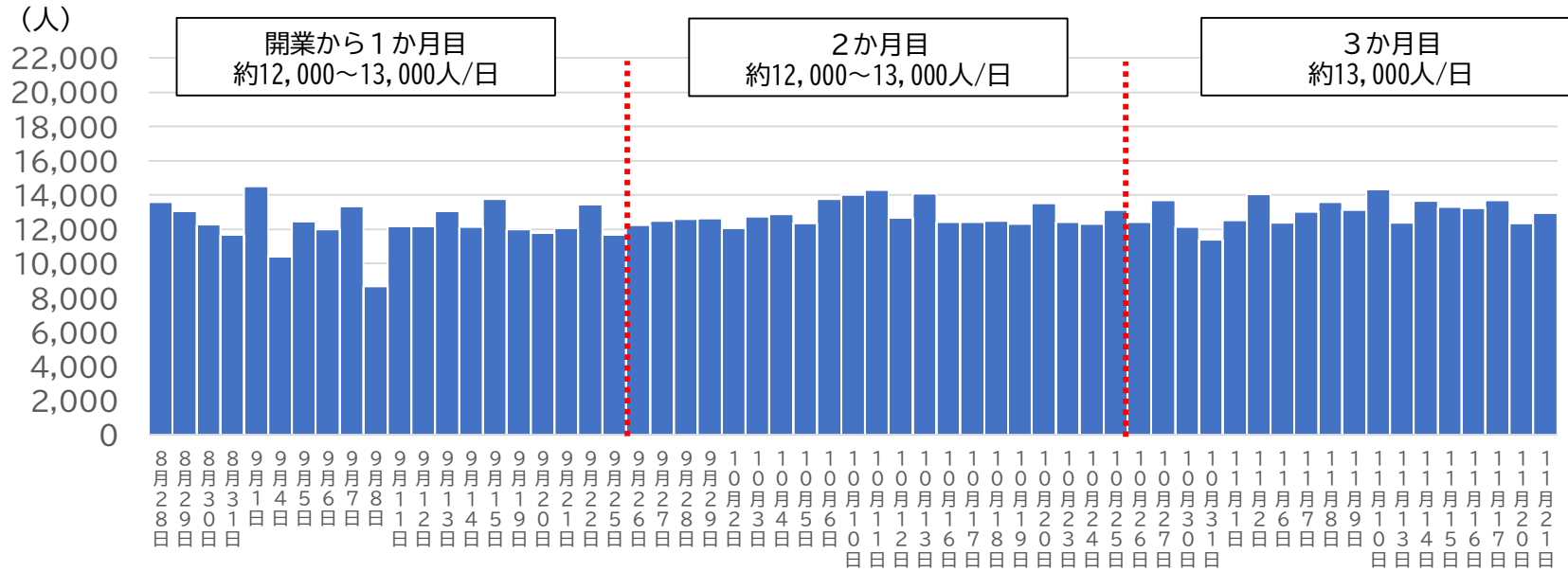
データ提供：宇都宮ライトレール株式会社

(参考) 日別の利用状況 (平日・土日祝)

※11/21まで実績

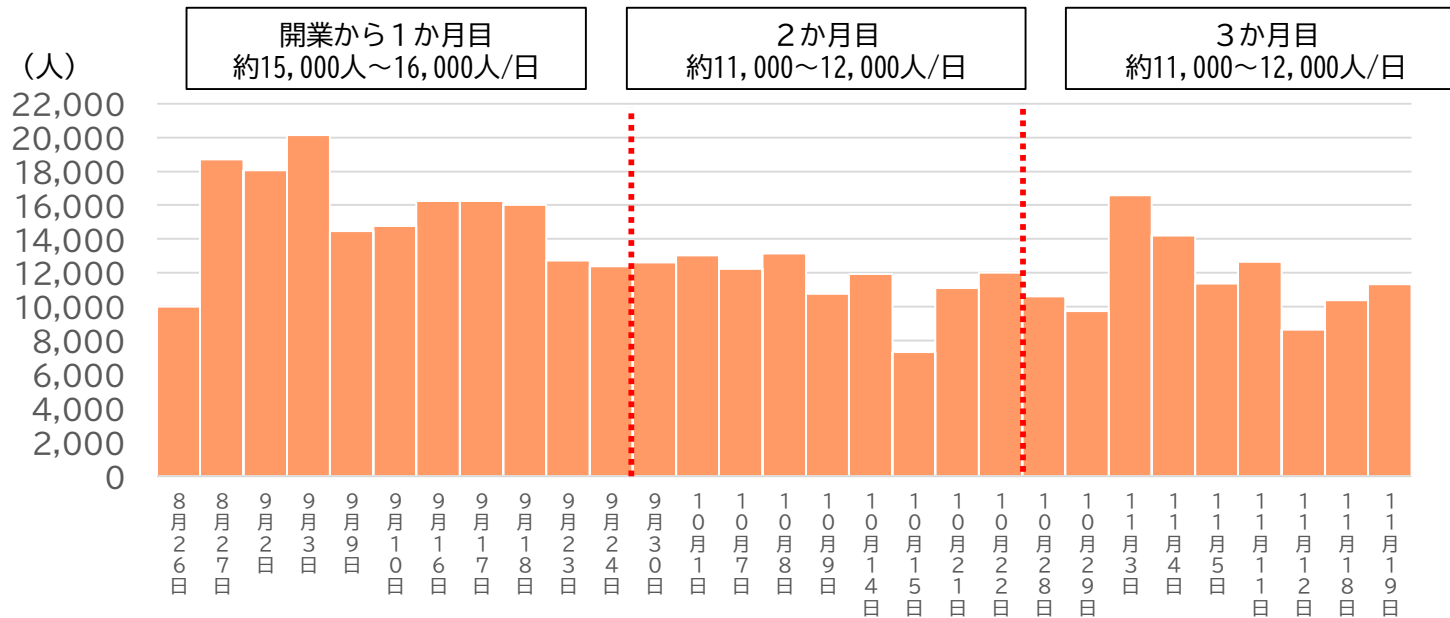
平日

1日あたり利用者数(人/日)



土日祝

1日あたり利用者数(人/日)



「ライトライン」開業後の他の交通等の利用状況について

(1) バス路線の利用状況

■ 利用状況

- 「ライトライン」の開業とあわせて、8月27日(日)にトランジットセンターでLRTと接続するバス路線を新設
- 一般的にバス路線の新設後は、需要の定着に3年程度を要するとされており、現時点では目標としている水準には達していない。

【表 新設バス路線の利用者数】

起終点となるトランジットセンター	8/27~ 10/31	平均利用者数(実績)				目標水準(3年経過後) (1日あたり利用者数)	
		平日		休日		平日	休日
		1日あたり	1便あたり	1日あたり	1便あたり		
①宇都宮大学陽東キャンパス(3系統)	24,153人	367.3人	3.28人	363.0人	4.43人	590人	450人
②清原地区市民センター前(4系統)	6,504人	122.2人	2.28人	47.8人	3.08人	690人	420人
③芳賀工業団地管理センター(4系統)	2,182人	34.8人	0.99人	29.3人	1.95人	430人	180人

※目標水準は、国・県補助の要件である収支率55%を満たすと見込まれる人数

【参考：再編前後の関東自動車株のバス路線利用者数（築瀬・駒生・宇都宮の各営業所の合計（速報値））】

	現金	ICカード	定期券		合計	
			通勤	通学		
R5.7/15~7/28	41,341人	155,143人	59,585人	33,355人	289,424人	109%
R5.8.26~9/8	40,426人	168,978人	64,756人	41,390人	315,550人	
前月比	-915人	+13,835人	+5,171人	+8,035人	+26,126人	

- 8月27日(日)のバス路線再編に加え、運賃改定により運賃が約18%上がったものの、全体としての利用者数は増加傾向にある。（ただし、7/21~28の期間は市内高校が夏休みであることを考慮する必要がある）

■ 今後の取組

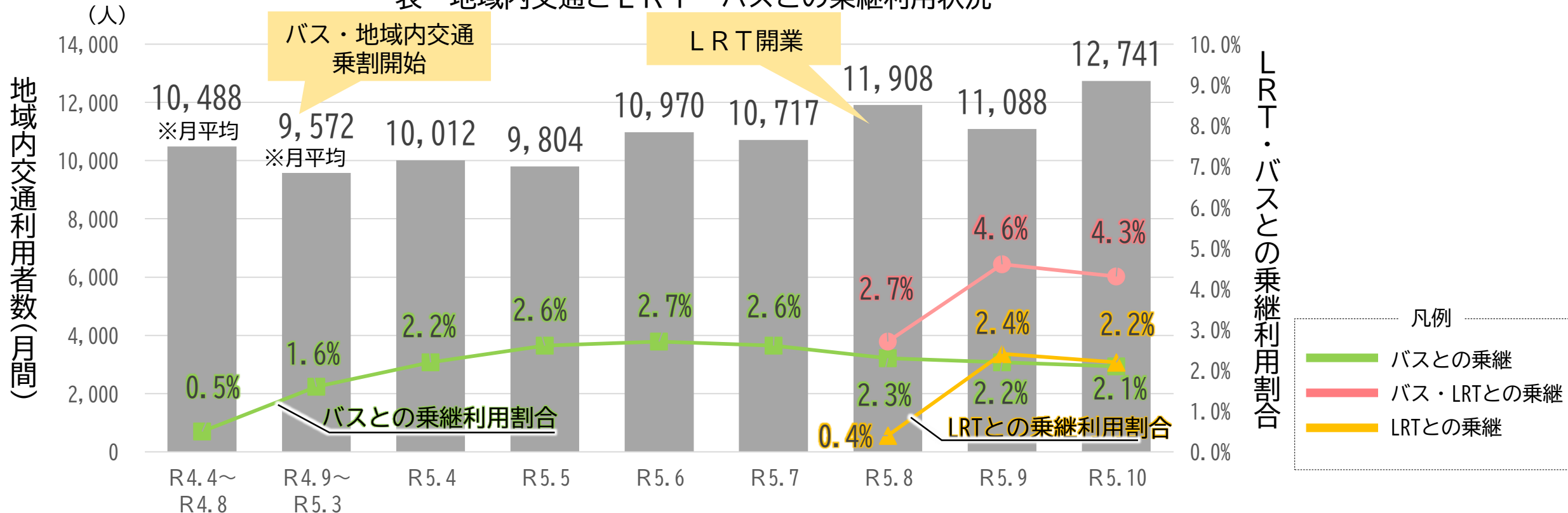
- 目標水準の達成に向け、通勤・通学の恒常的な利用が見込める定期利用者の確保に向けた利用促進策を検討するとともに、利用状況を調査・検証しながら、適宜、運行サービスの見直しを実施していく。

「ライトライン」開業後の他の交通等の利用状況について

(2) LRT・バスと地域内交通の乗継の利用状況（令和5年4月～10月）

・乗継利用の割合については、バスと地域内交通の乗継割引制度の導入前で0.5%であったが、制度の導入後、3.2倍の1.6%となり、令和5年4月以降は2%台で推移してきた。さらに、LRT開業後は乗継利用者は増加傾向となり、開業前の2%台から倍増の4%台へ引き上げられた。

表 地域内交通とLRT・バスとの乗継利用状況



※ 定時定路方式の地域内交通利用者及びバスの乗継利用者の抽出方法は、totra利用者の「LRT⇒地域内交通」、「バス⇒地域内交通」への乗継割引適用者×2の推計値を利用

※ 地域内交通利用者数(月間)は、R5.7までは「宇都宮市全域」の利用者数、R5.8からは「宇都宮市全域+芳賀町全域」の利用者数

■ 今後の取組

- ・ 今後は、乗継利便性向上に向けた施策の検討により、公共交通の利用促進を図っていく。

「ライトライン」開業後の他の交通等の利用状況について

(3) 「ライトライン」沿線の駐輪場の利用状況

- 「ライトライン」開業に合わせて、新規整備等を行った駐輪場の収容台数と利用状況を下表に示す。
(開業日以降、毎週二日間、平日の朝夕に調査を実施)
- 「宇都宮大学陽東キャンパス」、「飛山城跡」、「ゆいの杜西」の駐輪場の利用率が高くなっているが、慢性的に溢れることなく利用されている。
- 「芳賀町工業団地管理センター前」については、他の公共交通機関との乗換用のロータリー側に20台分、パーク&ライド駐車場側に20台分駐輪場が分かれており、ロータリー側の駐輪場は慢性的に混雑している状況である。
- 開業以降、駐輪台数は増加傾向が継続していることから、今後も継続して利用状況を確認するとともに、利用状況調査も実施していく。

表 駐輪場の利用台数

停留場	峰	陽東3丁目	宇大陽東 キャンパス	平石	平石中央小前	飛山城跡	清陵高校前	清原地区セン前	グリスタ前	ゆいの杜西	ゆいの杜中央	ゆいの杜東	芳賀管理 センター前	かしの森公園
整備台数	40台	5台	50台	50台	23台	20台	27台	70台	34台	40台	25台	25台	40台	10台
平均 利用台数	17台	—	43台	19台	6台	15台	17台	22台	13台	33台	13台	8台	31台	—
平均 利用率	43%	—	86%	38%	26%	75%	63%	31%	38%	83%	52%	32%	78%	—

※陽東3丁目は、民間事業者との連携により、店舗用駐輪場と兼用利用している
 ※宇大陽東キャンパスは、現時点で仮設であり、収容台数約150台に拡張整備中
 ※かしの森公園は、公園利用者と兼用利用している

「ライトライン」開業後の他の交通等の利用状況について

(4) 駐車場の利用状況

- 「平石」，「清原地区市民センター前」，「芳賀町工業団地管理センター前」のパーク＆ライド駐車場については，慢性的に混雑しており，駐車台数は増加している。
- 全ての停留場において満車で駐車出来ない時間帯が生じている。
- 公共交通利用促進策として送迎者用待機スペースを整備した「飛山城跡停留場」については，そのスペースをパーク＆ライド駐車場として利用されている状況にあることに加え，停留場南側の市有地にも駐車されている。

表 駐車場の平均利用台数（9/4～10/27の期間中の朝夕に調査を実施）（）内は利用率

	9月	10月	最大
平石（27台）	21台（78%）	22台（81%）	28台（104%）
清原地区市民センター前（64台）	41台（64%）	50台（78%）	64台（100%）
飛山城跡（8台） ※送迎者用待機スペース	7台（88%）	7台（88%）	25台（313%）
芳賀町工業団地管理センター前（55台）	35台（64%）	41台（75%）	55台（100%）



(4) 駐車場の利用状況

■ 利用状況に応じた対応

- 「平石」，「清原地区市民センター前」，「芳賀町工業団地管理センター前」に設けられているパーク＆ライド駐車場や，「飛山城跡」に設けられている送迎者用待機スペースの長時間駐車の状態化に対応するため，当該停留場の駐車スペースを増設（別紙1，2，3，4参照）

場所	整備内容	駐車台数	供用開始
平石	①停留場西側の市有地に駐車スペースを暫定的に整備 ②現在の駐車スペースの配置を見直し，駐車スペースを確保	27台→55台 (+28台) ①+19台 ②+9台	①供用開始済 ②R6.2頃
清原地区 市民センター前	トランジットセンター内の駐車できる区画を増設	64台→85台 (+21台)	供用開始済
飛山城跡	停留場南側の市有地に駐車スペースを暫定的に整備	8台→45台 (+37台)	供用開始済
芳賀町工業団地 管理センター前	現在の駐車スペースの配置を見直し，駐車場全体のレイアウトを変更	55台→69台 (+14台)	R6.3頃
台数合計		154台→254台 (+100台)	

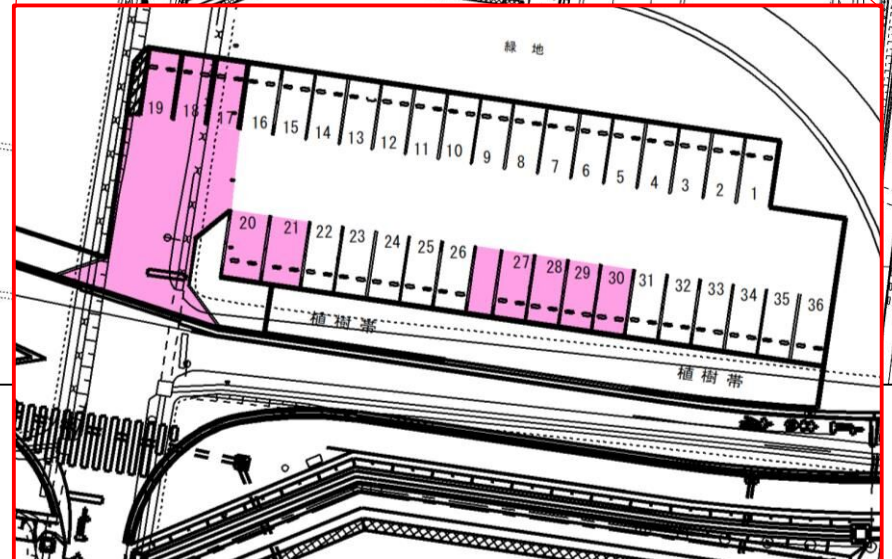
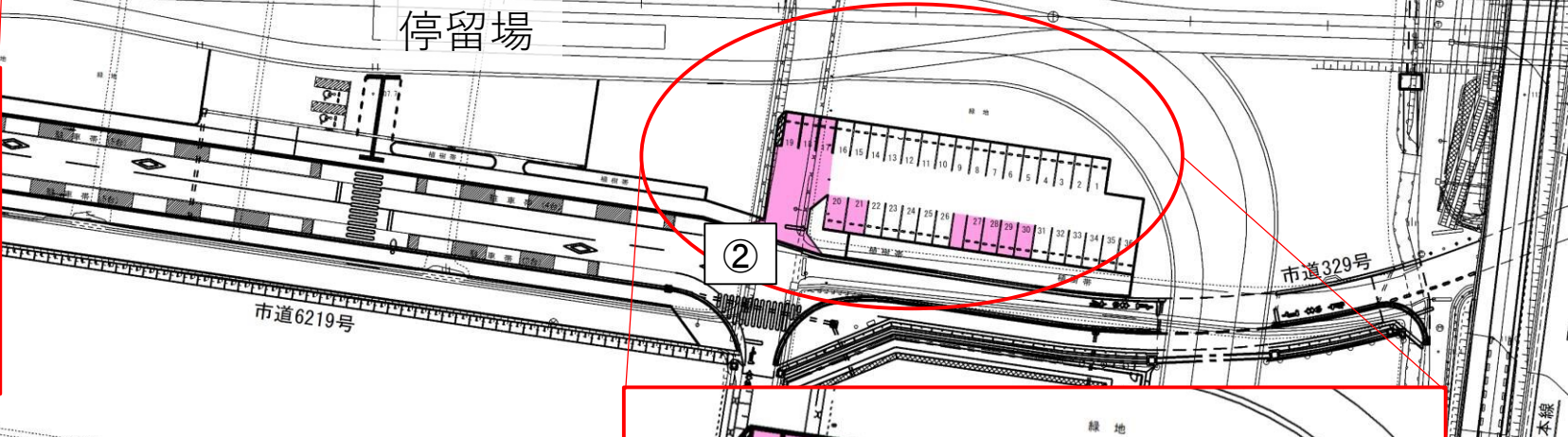
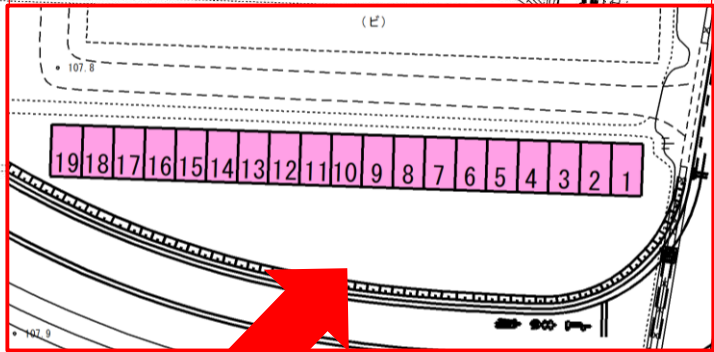
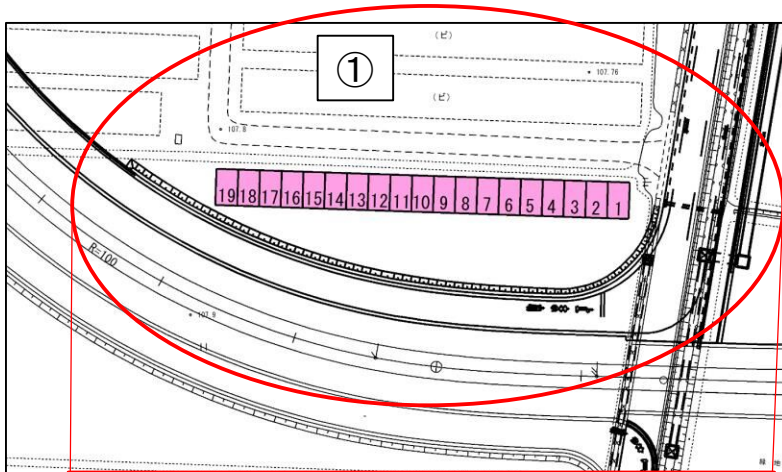
■ 今後の取組

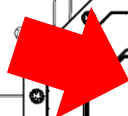
- 利用者アンケート調査などにより駐車場の利用状況を把握するとともに，バス・地域内交通の取組も踏まえながら，更なる利便性向上に向けて取り組む。

【平石TC 駐車場増設】

○整備概要

- ① 停留場西側の市有地に駐車スペースを暫定的に整備
⇒ 19台増加
- ② 現在の駐車スペースの配置を見直し
⇒ 9台増加

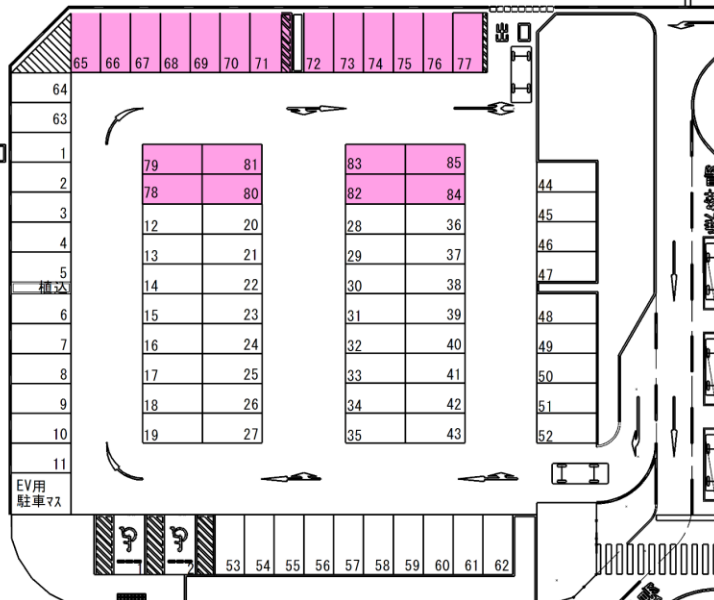




【清原 T C 駐車場増設】

○整備概要

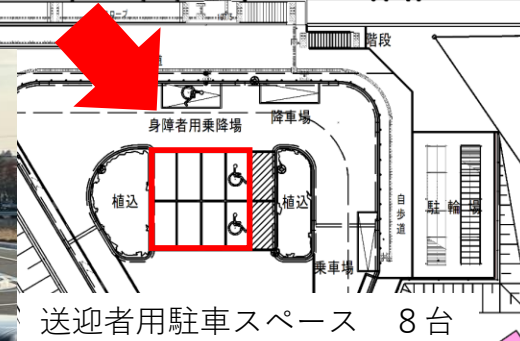
- ・ T C 内に区画線を追加して駐車スペースを増設
⇒ 駐車台数 64台→85台 (21台増加)



停留場

飛山城跡停留場

別紙 3



送迎者用駐車スペース 8台

【飛山城跡停留場 駐車場新設】

○整備概要

- ・ 停留場南側の市有地に駐車スペースを暫定的に整備
⇒ 駐車台数 8台→45台 (37台追加)



【芳賀工業団地 T C 駐車場増設】

○整備概要

- ・ T C内の既存の車止め等を撤去，区画線を再設置し，駐車スペースを増設
⇒ 駐車台数 55台→69台（14台増加）

(参考) 自動車交通量の動向 (「宇都宮市東部地域渋滞対策協議会」の調査結果より)

- 栃木県, 宇都宮市, 芳賀町, 宇都宮大学などにより構成される「宇都宮市東部地域渋滞対策協議会」の調査結果では, 鬼怒通りにおけるR5年度の交通量はR3年度より少ない状況
- H27, R3は西進方向は東進方向より多い傾向
⇒ 交通量の減少理由などの確認をするため, より広域かつ継続的な調査分析を行っていくこととしている。

▼昼間12時間自動車類交通量

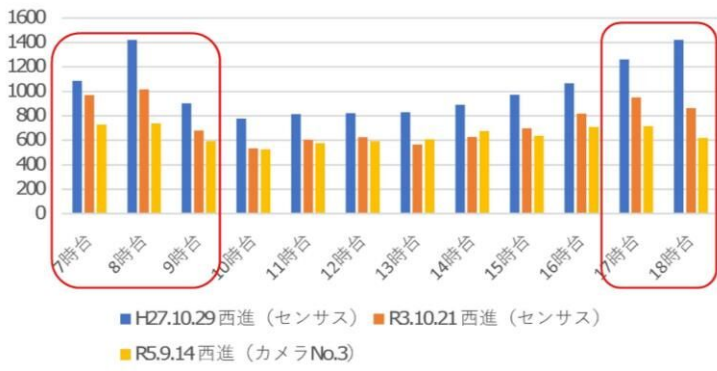
観測日	上り (西進)	下り (東進)	合計
H27.10.29	12,258	11,276	23,534
R3.10.21	8,942	8,270	17,212
R5.9.14	7,712	7,892	15,604

▼交通量の観測位置



出典：第5回宇都宮市東部地域渋滞対策協議会資料より抜粋 13

鬼怒通り 西進方向交通量推移



鬼怒通り 東進方向交通量推移

